



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 札

上場会社名 健康コーポレーション株式会社
コード番号 2928 URL <http://www.kenkoucorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬戸 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,435	34.2	△21	—	69	△77.2	△80	—
24年3月期第3四半期	10,014	△3.0	283	△70.1	302	△66.6	97	△77.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △11百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.59	—
24年3月期第3四半期	3.14	—

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,000	2,434	20.4
24年3月期	9,159	2,507	26.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,239百万円 24年3月期 2,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	235.00	235.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	1.74 ～2.18

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期(予想)期末の配当金については、平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割した株式分割後の額を記載しております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,228	50.4	1,012	11.3	967	3.1	674	△24.0	21.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割した株式分割後の額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 3社 (社名) (株)エンジェリーベ、(株)ケーアイエスギ システムパーツ(株)、(株)ケーアイエスギ
 ヤラリー、エムシーツーオフィス(株) 除外 3社 (社名) ヤラリー、エムシーツーオフィス(株)

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	30,859,000 株	24年3月期	30,859,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	30,859,000 株	24年3月期3Q	30,859,000 株

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 株式分割について

当社は、平成24年6月23日開催の定時株主総会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成25年3月期の配当予想及び連結業績予想については、該当事項をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

- ・ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
 - ・ 平成25年2月26日（火）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会
- ・ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調にあるなかで、欧州債務問題の長期化、中国や新興国での景気減速等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、上半期から継続して当社子会社のグローバルメディカル研究所株式会社が運営するボディメイクジム「RIZAP（ライザップ）」の新規顧客獲得に努めたほか、グループ内の経営資源の相互活用による生産性の向上とコスト削減に取り組みました。

当社の通販事業におきましては、上半期に積極的に投下した広告宣伝費を回収するため、新規広告を抑制し利益回収に努めましたが、主力商品である「ESTENAD（エステナード）」シリーズにおいて新規顧客ならびにリピート購入の落ち込みによる影響が大きく、当該商品は売上高、利益ともに前年実績を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,435百万円（前第3四半期連結累計期間は10,014百万円）、営業損益△21百万円（前第3四半期連結累計期間は283百万円）、経常利益69百万円（前第3四半期連結累計期間は302百万円）、四半期純損益は△80百万円（前第3四半期連結累計期間は97百万円）となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

(美容・健康関連事業)

美容・健康関連事業は、大きく分けて「美容関連分野」と「健康食品分野」になり、美容関連分野は主に、当社を中心に、株式会社ジャパングヤルズ、株式会社アスティ及びグローバルメディカル研究所株式会社が事業を行っており、健康食品分野は当社と株式会社アスティを中心に事業を行っております。また、エムシーツ株式会社美容関連・健康食品両分野においてコールセンター事業による販売支援活動を行っております。

美容関連分野におきましては、「ESTENAD（エステナード）」シリーズにおいて、割賦販売による未入金債権の回収を進めましたが、広告宣伝を抑制したことによる新規獲得の減少に加え、リピート率向上の効果的な施策が展開できなかったことが影響し、前年同期比で減収、減益となりました。

「どろ豆乳石鹸 どろあわわ」は、広告宣伝の抑制により売上高の大きな伸長はありませんでしたが、安定した出荷を維持し前年同期比で増収、増益となりました。

グループ会社の事業につきましては、株式会社ジャパングヤルズは、美容液フェイスマスクを中心とした店頭販売商品が好調に推移しました。グローバルメディカル研究所株式会社においては、広告宣伝活動による認知度の向上に伴い売上、会員数が増加しましたが、利益面ではボディメイクジムの全国展開に向けた先行投資を行ったため、営業損失となりました。

健康食品分野におきましては、「元源黒酢」や「ひとてまい」といった機能別健康補助食品が幅広い世代からの支持を受け、安定的な売上を維持しております。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は9,708百万円（前第3四半期連結累計期間は8,362百万円）、営業利益は117百万円（前第3四半期連結累計期間は631百万円）となりました。

(食品関連事業)

食品関連事業は、乳製品の加工受託及び製造販売事業を主たる事業とする株式会社弘乳舎が事業を行っております。

主力となる生産余剰乳の加工受託事業は当第3四半期後半から繁忙期に入り、前年同期比で増収となりました。また、乳製品事業においても、バター、脱脂粉乳、液状乳製品が好調に推移し、前年同期比で増収、増益となりました。

この結果、食品関連事業の売上高は2,034百万円（前第3四半期連結累計期間は1,652百万円）、営業損益は99百万円（前第3四半期連結累計期間は△92百万円）となりました。

(アパレル関連事業)

アパレル関連事業は、マタニティウェアや出産内祝いギフト等を販売する株式会社エンジェリーベが事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、カタログ通販による売上は前年比で減収でありましたが、通販部門のコスト削減を継続する一方、妊婦向けマッサージクリーム自社開発、販売を新たに開始し、サービス付加価値の向上に取り組みました。

この結果、アパレル関連事業の売上高は1,692百万円、営業利益は35百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.3%増加し、7,211百万円となりました。これは主として、現金及び預金が585百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が1,145百万円、商品及び製品が337百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて35.5%増加し、3,788百万円となりました。これは主として、のれんが334百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて20.1%増加し、11,000百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて37.1%増加し、4,991百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が548百万円、未払金が233百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18.7%増加し、3,573百万円となりました。これは主として、社債が345百万円増加したことによるものであります。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて28.8%増加し、8,565百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、2,434百万円となりました。これは主として、利益剰余金が198百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、平成24年5月28日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式取得により新たに子会社化した株式会社エンジェリーベ、株式会社ケーアイエスギャラリー及びエムシーツーオフィス株式会社並びに重要性が増したグローバルメディカル研究所株式会社及びミウ・コスメティックス株式会社を連結の範囲に含めております。

平成24年4月1日付で、システムパーツ株式会社は、株式会社弘乳舎を存続会社、システムパーツ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

平成24年7月1日付で、株式会社ケーアイエスギャラリーは、株式会社エンジェリーベを存続会社、株式会社ケーアイエスギャラリーを消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、第2四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

平成24年12月1日付で、エムシーツーオフィス株式会社は、エムシーツー株式会社を存続会社、エムシーツーオフィス株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当第3四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,517,843	1,932,559
受取手形及び売掛金	2,354,428	※1 3,499,783
商品及び製品	849,188	1,186,634
仕掛品	5,121	3,771
原材料及び貯蔵品	267,870	322,938
未収還付法人税等	100,349	0
その他	679,280	944,360
貸倒引当金	△410,107	△678,358
流動資産合計	6,363,973	7,211,690
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,007,114	1,019,999
その他(純額)	620,945	1,070,959
有形固定資産合計	1,628,060	2,090,959
無形固定資産		
のれん	829,396	1,164,203
その他	19,290	24,951
無形固定資産合計	848,687	1,189,154
投資その他の資産		
投資有価証券	23,449	21,758
その他	306,022	497,900
貸倒引当金	△10,996	△10,996
投資その他の資産合計	318,475	508,662
固定資産合計	2,795,223	3,788,775
資産合計	9,159,197	11,000,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,988	※1 1,018,257
未払金	518,854	752,201
短期借入金	534,424	466,912
1年内返済予定の長期借入金	1,553,428	1,730,499
未払法人税等	48,832	157,076
賞与引当金	48,156	39,510
返品調整引当金	31,348	23,855
その他	436,132	803,594
流動負債合計	3,641,165	4,991,907
固定負債		
社債	218,900	564,500
長期借入金	2,504,672	2,443,228
役員退職慰労引当金	37,829	148,129
退職給付引当金	142,678	133,010
その他	106,160	284,723
固定負債合計	3,010,240	3,573,590
負債合計	6,651,405	8,565,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	189,250	189,250
利益剰余金	2,149,730	1,951,581
株主資本合計	2,438,980	2,240,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	495	△1,067
その他の包括利益累計額合計	495	△1,067
少数株主持分	68,314	195,203
純資産合計	2,507,791	2,434,967
負債純資産合計	9,159,197	11,000,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,014,214	13,435,309
売上原価	3,894,391	6,177,810
売上総利益	6,119,822	7,257,499
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,776,808	3,392,784
その他	3,059,067	3,885,948
販売費及び一般管理費合計	5,835,875	7,278,733
営業利益又は営業損失(△)	283,947	△21,234
営業外収益		
受取利息及び配当金	394	625
受取賃貸料	1,602	1,247
投資不動産売却益	65,855	—
保険解約益	—	53,100
匿名組合投資利益	—	54,647
その他	5,069	65,807
営業外収益合計	72,922	175,427
営業外費用		
支払利息	47,563	59,435
貸与資産減価償却費	17	—
その他	6,782	25,693
営業外費用合計	54,364	85,129
経常利益	302,505	69,063
特別損失		
固定資産除却損	2,354	14,254
役員退職慰労金	1,800	—
災害義援金	10,000	—
その他	3,463	1,258
特別損失合計	17,617	15,512
税金等調整前四半期純利益	284,887	53,550
法人税、住民税及び事業税	254,822	210,636
法人税等調整額	△67,422	△146,744
法人税等合計	187,399	63,892
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	97,488	△10,341
少数株主利益	426	69,692
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97,062	△80,033

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	97,488	△10,341
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	0	△1,563
その他の包括利益合計	0	△1,563
四半期包括利益	97,488	△11,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,062	△81,596
少数株主に係る四半期包括利益	426	69,692

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,362,022	1,652,191	—	10,014,214	—	10,014,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16,784	—	16,784	△16,784	—
計	8,362,022	1,668,976	—	10,030,998	△16,784	10,014,214
セグメント利益又は損失(△)	631,545	△92,384	—	539,161	△255,214	283,947

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容・健康関連」セグメントにおいて、平成23年12月28日付で株式会社アスティ及びエムシーツ一株式会社の株式を取得し、当該2社及びエムシーツ一株式会社の子会社3社を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては261,577千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,708,531	2,034,698	1,692,079	13,435,309	—	13,435,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,380	13,695	—	21,075	△21,075	—
計	9,715,912	2,048,393	1,692,079	13,456,385	△21,075	13,435,309
セグメント利益又は損失(△)	117,139	99,568	35,967	252,675	△273,909	△21,234

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容・健康関連」及び「アパレル関連」セグメントにおいて、株式会社エンジェリーベ及びエムシーツーオフィス株式会社の企業結合に伴い、第1四半期連結累計期間にのれんがそれぞれ171,725千円、114,425千円発生しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社エンジェリーベが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「美容・健康関連事業」「食品関連事業」に「アパレル関連事業」を追加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

また、会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。